令和８年度青森県原子力災害医療訓練（傷病者受入・搬送訓練）実施要綱

１．目的

東北電力（株）東通原子力発電所で原子力災害が発生したことを想定し、県内外の原子力災害医療派遣チームと関係機関との緊密な連携により原子力災害に係る多数の傷病者等の受入・処置を円滑に行うことができるよう実践的受援訓練を実施する。

２．実施日時

令和８年１１月２１日（土）　９：００～１４：００

（コントローラー・指定プレイヤー集合：８：００）

３．実施場所

八戸市立市民病院

４．訓練項目

（１）青森県災害対策医療本部(仮想)と関係機関との通信・搬送・派遣依頼（通信訓練）

（２）原子力災害拠点病院の受援訓練（傷病者受入・搬送訓練）

（３）患者搬送・誘導訓練（傷病者受入・搬送訓練）

５．訓練想定

別添資料「訓練想定概要」をご覧ください。

※内容は一部変更になる場合がございます。

６．参加機関

高度被ばく医療支援センター/原子力災害医療・総合支援センター：弘前大学

原子力災害拠点病院：青森県立中央病院、八戸市立市民病院

搬送機関：八戸地域広域医町村圏事務組合消防本部

原子力事業者：東北電力株式会社、日本原燃株式会社、リサイクル燃料貯蔵株式会社、電源開発株式会社、東京電力ホールディングス株式会社

県外の原子力災害医療派遣チーム：倶知安厚生病院(北海道)、石巻赤十字病院(宮城県)、福島県立医科大学付属病院(福島県)、総合南東北病院(福島県)

青森県医療薬務課

青森県原子力安全対策課

令和 8 年度　青森県原子力総合防災訓練

訓　練　想　定　概　要

八戸市立市民病院　｜　令和 8 年 11 月 21 日（土）

1．訓練基本情報

訓練名称	**令和 8 年度青森県原子力総合防災訓練（医療訓練）**
実施日時	令和 8 年 11 月 21 日（土）　★11 月 20 日 17:00 GE 発令済 ※発災・SE は前日 11 月 20 日（金）正午から開始
主会場	八戸市立市民病院（講堂・診療室等）
訓練形式	実働訓練（一部仮想含む）　※1 泊 2 日シナリオ（11/20 想定～**11/21 実働**）
主催	青森県（医療薬務課）
委託事業	令和 8 年度原子力施設等防災対策等委託費（弘前大学・伊藤班）
対象原発	東北電力株式会社　東通原子力発電所 1 号機（青森県東通村）
参加機関	・青森県（原子力安全対策課、医療薬務課） ・八戸市立市民病院（原子力災害医療派遣チーム活動拠点本部） ・弘前大学（放射線安全総合支援センター、派遣チーム 1 隊） ・青森県立中央病院（派遣チーム 2 隊） ・県外の原子力災害医療派遣チーム：倶知安厚生病院(北海道)、石巻赤十字病院(宮城県)福島県立医科大学付属病院(福島県)、総合南東北病院(福島県)
DMAT 参加	実働なし（仮想あり）　※EMIS 使用あり

2．訓練目的

本訓練は、以下の過去の災害・先行委託事業の反省と成果を踏まえ、原子力災害医療派遣チームの体制整備に係る実効性を検証することを目的とする。

反省・背景	訓練目的
能登半島地震の反省	① EAL・OIL に関する情報及び放射線汚染傷病者情報の派遣チームへの情報共有確認 ② 放射線安全管理（EAL・OIL）に基づく派遣チームの安全管理確認
東日本大震災の反省	**③ 原子力災害時の派遣チーム活動内容の確認・拡大（PAZ 施設避難支援・UPZ 病院支援）** ④ 原子力災害時の社会福祉施設・医療機関支援体制の確認
R5・R7 委託事業の成果活用	**⑤ 派遣チーム調整本部設置による指揮命令系統の構築と検証** ⑥ 派遣チームの EMIS 活用による情報共有体制の検証

3．訓練想定（シナリオ骨子）

3-1　発災・事象進展

【訓練構成について】
本訓練は 1 泊 2 日想定のシナリオを用いる。11 月 20 日（金）正午に発災し、当日のうちに
AL→GE 放出前まで事象が進行した想定とする。
翌 11 月 21 日（土）9:00 に他県を含む参集派遣チームが八戸市民病院に集合する。
GE（放出後）への移行は、訓練進行状況を見てコントローラが判断するオプション設定とする。

Day1（11 月 20 日・想定）：発災～SE（夜間・翌朝）まで

想定日時	EAL / 事象	内容
11/20（金） 12:00	【地震発生】	■ 青森県東方沖でマグニチュード 8.0 の巨大地震が発生 ■ 東通村：最大震度 7（東通原子力発電所も震度 7） ■ 下北半島沿岸に大津波警報発令（最大波高 8～10m 想定） ■ 電力系統喪失（むつ幹線・東北白糠線停止）、原子炉自動停止（スクラム成功） ■ 東通村・下北半島沿岸部で甚大な被害（道路寸断・通信障害・断水）
11/20 12:15	AL 発令 （警戒事態）	■ AL 発令根拠：所在市町村で震度 6 弱以上の地震発生（EAL 該当） → AL22：常用給水喪失、AL25：非常用交流高圧母線喪失のおそれ ■ 青森県原子力災害警戒本部および保健医療福祉調整本部（保医調）立ち上げ ■ 弘前大学・高度被ばく医療支援センター、原子力災害拠点病院（八戸市民病院等）へ情報提供・待機要請 ■ DMAT 調整本部（保医調内）立ち上げ、EMIS 登録開始 ■ 青森県内外の原子力災害医療派遣チームへ出動準備要請（翌朝集合に向け移動開始）
11/20 13:00	発所内 傷病者発生	■ 発電所構内の復旧作業中に汚染を伴う外傷傷病者 2 名発生（詳細：第 4 章参照） ■ 下北消防本部へ搬送依頼 → 八戸市民病院へ搬送・入院 ■ 八戸市民病院（原子力拠点病院）への連絡・情報共有を実施（仮想）
11/20 15:00	SE 発令 （施設敷地緊急事態）	■ SE 発令根拠：直流電源の部分喪失（SE27 該当） ■ 青森県原子力災害対策本部（原災本部）設置 ■ 保医調内に原子力災害医療調整チーム設置：R-DMAT 派遣調整開始 ■ PAZ 内の社会福祉施設 2 施設と連絡不通の報告（通信障害） ■ 弘前大学専門家チームが県庁に到着、派遣チーム調整を開始（仮想）
11/20 17:00	GE 発令 GE（放出前）	■9:00 GE 発令（全面緊急事態）　GE27：格納容器健全性喪失のおそれ / 全直流電源 5 分以上喪失 ■PAZ 全住民（2,200 人）：避難指示 / UPZ 住民（69,000 人）：屋内退避指示 ■ ★放射性物質の域外放出はまだ発生していない（GE 放出前） ■ 八戸市立市民病院に R-DMAT 活動拠点本部設置 ■ PREFECTURE ブース：調整本部機能開始・NISS/EMIS 入力開始 ■ 北海道・青森県・宮城県・福島県への R-DMAT 派遣要請

関係者駐車場について

・私用車でお越しの際は患者用駐車場を使用し、正面玄関から中へお入りください。

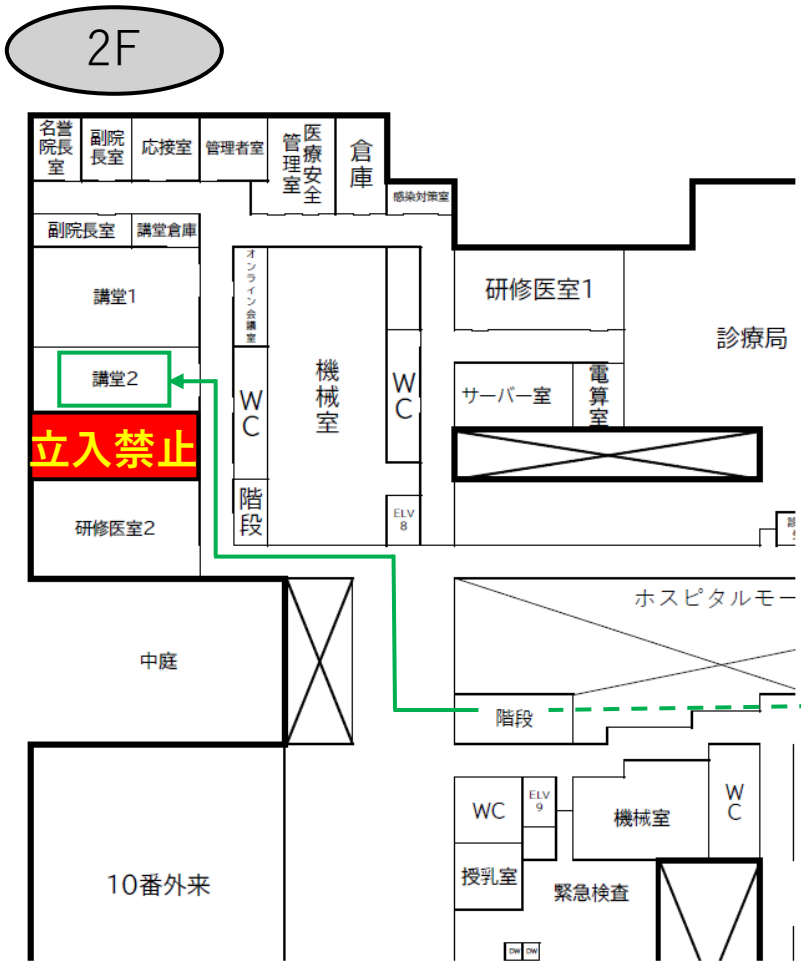
・区分(参加者、参観者、報道機関)でエリアを設けておりませんので空いている場所へ駐車の方お願いいたします。

・**<u>入ゲートで駐車券を発券し、必ず集合場所・受付会場までお持ちください。無料化処理いたします。</u>**

・私用車以外でお越しの際はそのまま正面玄関から中へお入りください。



参加者集合場所
参観者受付場所





階段から2階へ上り、**講堂2**までお越しください。

※手前の講堂３は別件で使用中ですので立ち入らないようにお願いいたします。

1F

2F

社会福祉施設（仮想）
&R-DMAT活動拠点本部

青森県庁（仮想）
コントローラーエリア



避難住民
対応エリア

診療エリア

